

# 法医学試験

平成17年2月8日実施

法医学試験  
実施

平成17年2月8日

問題は全部で4問(問題用紙5枚)、解答用紙は4枚あるので確認すること。各解答用紙に氏名、番号の記入を忘れないこと。 17:00～18:30

問題Ⅰ 次の問題の解答を記号で記せ。

- ①. 死体検案書について正しい記述を選べ。
  - a 通常死亡届とは別紙で交付される。
  - b 検案した医師または歯科医師が交付する。
  - c 検案した客観的事実のみを正確に記載する。
  - d コンピュータ出力した検案書も自署または押印があれば有効である。
  - e 検案書の右端に必ず割印を押す。
  
- ②. 異状死体でないものを選べ。
  - a 脳出血の診断のために MR アンギオグラフィー検査が行なわれた患者が、直後に容体が急変して死亡した。
  - b 溺水で救急搬送された心肺停止状態の患者が、病院で蘇生したが、翌々日に死亡した。
  - c 蜂刺傷によるアナフィラキシーショックで入院中の患者が、病院食で出された「とろろそば」を食べた直後に苦悶状となり死亡した。
  - d 土曜日に診察をした患者が、翌朝自宅にて、加療中の心疾患から急性心不全で死亡した。
  - e 交通事故で頭部損傷のため、長期臥床になった患者が流動食の誤嚥性肺炎で死亡した。
  
- ③. 死体現象について正しいものを選べ。
  - a 死後硬直の始まる時間は、通常夏より冬の方が早い。
  - b 腐敗網は血球成分が分解・腐敗することで血管外に漏出したものである。
  - c 直腸温は外部環境によって大きく左右されるため、死後経過時間の推定に役立たない。
  - d 乳幼児は成人に比して体重に対する水分量が多いので、手指先や口唇のミイラ化が起こりにくい。
  - e 死ろう化は水中死体のみで起こるものであり、体内の脂肪成分がけん化する。
  
- ④. 電気による損傷・障害について正しいものを2つ選べ。
  - a 交流電源では 100Hz 程度がもっとも危険である。
  - b 直流電源より交流電源の方が電流が一方向性に流れないので安全度が高い。
  - c 感電死の特徴的な所見は電流斑と呼ばれる電流の流入部の皮膚に見られる変化である。
  - d 皮膚の電気抵抗値は内臓より低いいため、熱変性など大きな障害を受けやすい。
  - e 汗をかいた皮膚は電気抵抗値が低い。
  
- ⑤. 脳死判定基準に含まれないものはどれか。
  - a 平坦な脳波
  - b 縮 瞳
  - c 自発呼吸の消失
  - d 脳幹反射の消失
  - e 深昏睡